



株式会社ニッセイエコ

〒252-0821 神奈川県藤沢市用田475

TEL:0466-48-7572(代)

FAX:0466-48-8177

E-mail:info@nisseieco.co.jp

http://www.nisseieco.co.jp

Quick ship

I N F O R M A T I O N

2007

創刊号

contents

創刊であいさつ

P 1

特集;ニッセイエコの「考え方」とは

P 3~P 6

クイックシップ発刊にあたり

「思い立ったらすぐ行動、 今やる、すぐやる、速くやる」 の精神を大切にしたい

代表取締役社長
稲村 道雄



当社の事業の紹介

私どもは1970年に創業し、おかげさまで皆様方のお力添えをいただき、今日どうにかここまで発展することが出来ました。紙面をお借りし深く御礼申し上げます。このたび季刊誌発刊にあたり、当社の紹介をさせていただきます。

当社は8つの事業部門と、国内に2ヶ所の工場と協力会社2社、海外に100%子会社として上海、惠州、ベトナム、そして合弁会社としてタイに工場をもって操業いたしております。

- ① **ディッピング**: 創業は塩化ビニルの液体で成形するディップ事業を立ち上げました。当社では脱塩ビの商品開発にも積極的に取り組んでおりますが、このディッピング成形はいまだに新しい用途での利用も増えており、まさに適材適所、古くて新しい技術として存在意義がある成形技術であります。
- ② **射出成形**: 当社は1999年4月に社名を稲村ディップからニッセイエコと、環境に配慮したエコロジーを目指す会社として大きく方向転換をいたしました。スローガンは「脱塩化ビニル」。これに今後のビニル業界に不安を募らせていた大手ユーザー様から新規代替品の開発案件などを多くいただき、一部上場企業様との直接取引

経営理念を持つ意味

このように直近の8年足らずの間にも、いくつもの新規事業を立ち上げ、新技術を獲得し、さらには海外拠点もアジアを中心に6箇所の生産拠点を有する“国際企業”へと変貌を遂げてきました。こうした足跡の背景には、当社の「経営理念」が貫かれており、むしろその「考え方」を具現化してきたからこそその結果だとも言えます。

もちろんこれから先、こうして多分野や多事業所を抱えて経営をするためにも経営理念をしっかりと持ち、それを全社員に教育し同じベクトルに合わせることが不可欠であり

が増加し、射出成形品やアクリル液化樹脂を使用する製品開発が活発化しました。

- ③ **コルゲートチューブ**: 次に同年5月に那須の大明電装を取得し、那須工場を立ち上げ、ポリプロピレンやナイロンのコルゲートチューブ部門として生産を開始いたしました。
- ④ **金型製作**: 2000年に隣接ビルを取得し2001年から金型部門を立ち上げNTTの光ファイバー関連の製品承認を得、光ファイバーアクセサリーの分野に進出しました。
- ⑤ **機械設計**: 2002年には製造装置を自社で開発し製造する機械製造部を発足。
- ⑥ **メディカル**: 翌2003年にメディカルチューブ、特に極細カテーテルの開発に着手し、現在では医療分野でも一定の地位を確保できるまでに成長しております。
- ⑦ **原料製造**: そして2004年に塩化ビニルのペレットを内製化するために那須にペレット造粒機を設置し、毎月50トンの社内向け特殊塩ビコンパウンド製造を開始しました。
- ⑧ **燃料チューブ**: 2007年にはコルゲート需要の頭打ちに伴い、更なる高度技術へのチャレンジとして新たに自動車用ガソリン供給チューブの開発製造に着手いたしました。

ます。当社では、まず社是として「勢い」「挨拶」「魁(さきがけ)」「感謝」を掲げ、次に考え方を教育するスローガンが並びます。「まずは考え方ありき、まずはやってみる、その前に周到なる段取りを」「思い立ったらすぐ行動、今やる、すぐやる、速くやる」「出来るは前進、出来ないは後退」。すなわち、この理念をまずきちんと皆様にお伝えすることが、当社の足跡、今後をご理解いただくうえで不可欠な事と考え、創刊号の特集記事として、当社の考え方を次ページ以降でご紹介させていただくこととしております。

「Quick ship-クイックシップ」の意味

当社もおかげさまでお客様450社、仕入先様40社、海外子会社の日系お取引様は約200件を超える企業になってきました。社員も本社47名、那須事業所18名、中国200名、タイ900名に。さらにラオス、マレーシアにもグループ会社があります。また、技術の顧問や委託指導員も20名おります。

そして今ニッセイエコは何をしている会社か。10年20年前からお付き合いくださっているお客様ほど、今の当社の実態がよくわからなくなられたのではないのでしょうか。それは当社の宣伝不足であり営業を怠っていたことで、深く反省しております。今後グループの紹介や工場の紹介、グローバル化の計画やトピックス、それに私の経営観などを掲載させていただきたいと思っております。

最後に、このたびの季刊誌発刊にあたり、題名Quickshipの意味をご説明したいと思います。この言葉はQuickという早く、早い、という意味と、shipという船そしてスポーツマンシップなどの、精神という意味を組み合わせた造語であります。

そこには、この変化の早い世の中で、小さく舵を切りながら前進する船にたとえ、今ある社是社訓「思い立ったらすぐ

行動、今やる、すぐやる、速くやる」の精神を大切にしたいとの思い入れがあります。また、世界が縮まりスピードを出して舵取りをするということは、変化、情勢、状態の急変にクイックターンするがごとく方向転換も経営上大切な判断になってきます。そのためには柔軟な舵取りが必要になってきます。この名前は社員に公募して決めました。最初は今ひとつピリッと来ない題名でしたが、弁理士先生からこの意味はスピードのある速さを精神とするという意味ですかねといわれた一言で、お〜っ、結構いい名前だねということになり、当社のスピード感とマッチして、気に入ってしまいました。

それと、季刊誌を発行したということは、会社が立ち行かなくなるまで発行し続けなければなりません。その強い意志を社員から感じた今、いよいよもって発刊にこぎ着けた次第です。この初心をいつまでも私を含め社員一同忘れてはなりません。この出版、出帆を深く心に納め、一人でも多くの愛読者を増やしていきたいと願っております。最後に、この発刊にご尽力くださった方々そして、愛読者になっていただけるであろう皆様に幸多きことを祈念して、乾杯。



ニッセイエコの『考え方』とは

まずは考え方ありき

ニッセイエコは、「考え方」に徹底的にこだわる会社です。

企業の根幹、その「考え方」さえしっかりしていれば、たとえ社長が変わろうが、企業は成り立つのだと考えます。

まずその「考え方」をご紹介させて頂くことが、当社をご理解頂く上で最も相応しいと考え、創刊号の特集記事とさせていただきます。

社 是

1. 勢い
2. 挨拶
3. 魁
4. 感謝

考 え 方

1. まずは考え方ありき
2. まずはやってみる
3. 周到的な段取りを
4. ハイ喜んでやらせていただきます
5. コスト意識 思い立ったらすぐ行動
今やる すぐやる 早くやる
6. 全社員が営業マン
7. こだわり環境ニッセイエコ

世の流れと真逆。『オールインワン工場』

当社の「考え方」には、やってみる、すぐやる、やらせていただくと、とにかく「やる」という言葉が随所に出てきます。社是の「勢い」、「魁」にも通じるところであり、これが、ニッセイエコの考え方の最大の特徴といえます。

当社はディップ成形からスタートしましたが、その、まずはやってみるという考え方を実践し、積み重ねてきた結果として、現在では射出などの樹脂成形はもとより、金型製作や、原料の開発などまで、すべて社内に対応できる本当の意味での一貫体制を築くにいたっております。

金型については本格的な金型設備を備え、5ルーメンなどの高精度な金型まですべて自前で製作。ここまで本格的に金型にも取り組んでいる樹脂成形メーカーは稀有ではないでしょうか。

ちなみに世の中は、アウトソーシングが主流。当社は、明らかにそれとは逆行しており、かなり風変わりな会社とお感じになられるかも知れません。

しかしこのことは、お客様からすれば「ニッセイエコに声をかけさえすれば、金型から成形まで相談でき、一箇所で量産まで持っていける」こととなります。実際、一流企業様の商品開発のお手伝いをさせて頂くことも少なくありません。本社の社員はたった47人。しかし、そこに必要な一連の技術と設備、ノウハウが集積。だから、きっと他にはない「オールインワン」としての存在価値を認めて頂けているのだと考えます。

一箇所で完結。だから高品質、クイックリー。

樹脂成形部門はもとより、原料開発、金型製造部門まで、本社内に集積。数十歩以内で全てが完結するまさに「社内一貫体制」。だから、たとえばトライ1の結果を3階の喧嘩庵でご確認頂き、金型の担当者がすぐに1階に下りて金型を手直し。その一時間後にはトライ2をご確認頂く。このように求める品質をクイックリーにご提供することも、ニッセイエコでは可能なのです。



喧嘩庵：
より良いモノ作りのために、営業・技術が集まって喧嘩の討論をするためのスペース



射出成形：
光ファイバーアクセサリ等を生産



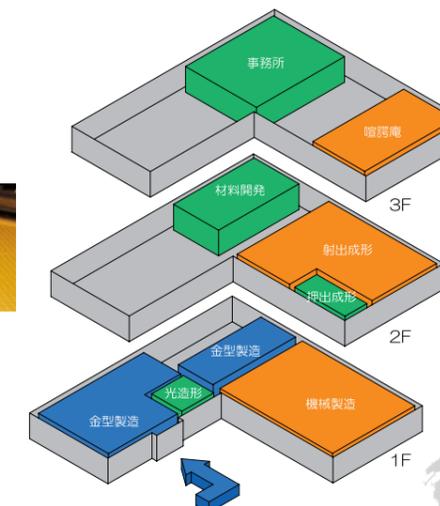
押出成形：
コルゲート、各種チューブ等を生産



材料開発/試験室：
各種性能試験、物性試験、材料の開発



光造形：
勘合部品にも適した樹脂による試作品の製造



ディップ成形：
各種キャップ、スリーブ等を生産(本社別棟)



金型製造：
5ルーメン金型など、大手企業からも認められる技術で金型製作



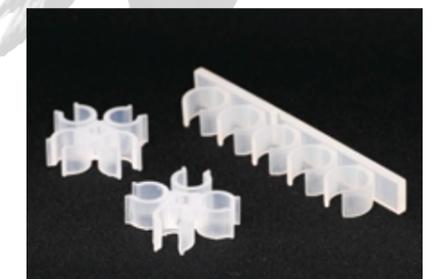
機械設備製造：
押出機など各生産拠点で必要とする機械設備を製造



5ルーメン金型



その他、高精度金型事例



光造形での試作品

『魁』。その国際進出の考え方。

当社の「考え方」の独自性は、その国際拠点作りにも現れています。23年前(1985年)にタイに進出したのを手始めに1994年上海に工場を、2002年に天津にストックヤードを開設し北方の物流拠点を置き、2004年に広東省惠州に工場を開設。また、ベトナムのハイフォンに海外4つ目の生産拠点を置きました。

これらは企業規模からすれば、かなり早い海外進出であっただけでなく、どこから要請を受けてではなく、これから需要が伸びそうなところで、ドアtoドアでの対応を目指して独自の判断で進出を行ってきたものです。とはいえ当社は系列に属さない独立企業ですから、現地で個々の顧客をゼロに近い状態から開拓せねばならず、もちろんそれだけのリスクを伴う進出でした。しかし、“誰かからやらされる”、“仕方なく”、の進出と、自らの意志による進出とは、やはりその後の動き方も異なるでしょうし、また「魁」たことで、後から進出されてくるお客様にも喜んで頂けることにもなり、まさにこれらの拠点作りも、社是の実践そのものといえます。

またいずれの拠点も日本と同じものを生産し、同じ品名を使い、ULや電取法のFマークやISOの品質や環境を取得し、どこの事業所から購入しても同じ品質が保てるよう管理を一元化しました。またこのことで、金型を自社で製作、機械設備や原材料まで内製化することで相乗効果も大いに享受できます。ちなみに独自開発した押出成形機は、数年間でグループ内に40台を出荷。これだけでもちょっとした機械メーカーと言えます。

そして、当社の「考え方」の6項目に掲げた「全員が営業マン」は、これらの拠点でも徹底されています。惠州進出時の最大の目的は、上海工場のライバルを作ることでした。またベトナム進出も、中国に生産が片寄る危機を回避するとともに、ベトナム市場の成長を期待してのことです。つまり、各拠点同士も競い合い、その結果としてグループ全体として成長していけるようにシナリオを描いているわけです。

このように国際進出も、一般企業のそれとは目的も手法もかなり異なっているわけですが、ここにもニッセイエコの考え方の独自性が具現化されているのです。



那須工場



惠州工場



上海工場



拠点別の売上実績や稼働率などの状況をリアルタイムで把握できる「CCAシステム」を独自開発。



ベトナム工場



本社



タイ工場



アジアを中心に7箇所の生産拠点。中国国内を3拠点で広域をカバーするなど、お客様のお近くで、またカントリーリスクを回避して、素早く、安定的に供給できる体制を整えています。

◇まずはやってみる。そこから生まれた独自商品の一例。

◆ECO-01チューブ(脱塩ビ品)



オリジナルのオレフィン系エラストマーを用い、使い勝手の良い脱塩ビチューブを開発。

◆医療用酸素鼻腔カニューラ



厳しい品質管理が求められる医療分野でも評価頂き、高いシェアを確保。

◆防鼠コルゲート



ねずみの嫌う忌避剤を含有させたコルゲート。OA機器周辺、農機などで活躍中。

◆T-PROTECT



ハーネス組立の際の分岐部分を接続・保護。テープ巻き付け作業の削減に貢献。

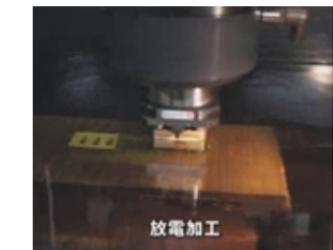
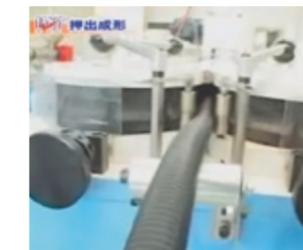
さいごに

今回は創刊号ということで改めて、当社の考え方をご紹介させていただきました。当社はまだまだ課題も多い発展途上の企業です。しかし当社が他の企業とは違う考え方を持ち、それを実践してきたこと、そしてそれがお客様にとって、他にはないお役に立つ可能性があること。それを少しでも感じ取って頂け、新たな視点でお付き合いを拡げて頂くきっかけになれば幸いと存じます。

これから本誌「Quickship」にて、より具体的な情報をお届けしてまいりますので、是非、末永くご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。

◇当社を動画でもご覧頂けます！

ホームページから、ニッセイエコ本社の全体像を動画でもご覧頂く事が出来ます。生産設備などの動きをご覧頂く事が出来ますので、よりご理解頂きやすいと存じます。ぜひ下記アドレスまでお立ち寄り下さい。



<http://www.nisseieco.co.jp/index.html>